# M's VOICE

HIROYUKI MIKURIYA

HIROYUKI MIKURIYA PUBLIC RELATIONS MAGAZINE Vol.02 2018 SUMMER

## 市政未来 みくりや洋行
## みんなの声を未来へ。

## 一般質問

平成30年6月一般質問

### 子どもの安全について

**子どもが被害者になる痛ましい事件事故が全国で多発！警視庁のデータでは、連れ去りの7割が6～12歳の女子児童、下校時の通学路が最も多く、年間約100件発生。**

**Q** 通学路における交通安全及び防犯対策はいかに。

**A** 通学路の合同点検、防犯教室の実施。

**Q** 通学路の合同点検とは。

**A** 警察、道路管理者、学校、PTA、地元自治会などで合同点検を行い、危険要因を特定。

**Q** 合同点検について、具体的な件数や事例は。

**A** 346箇所を把握、279箇所に対策。
歩道の拡張、カラー舗装の実施、道路標識の塗り直し等。
立ち番の強化依頼（見守り活動）

**Q** 合同点検について、危険箇所の情報はどの様にして入手するのか。

**A** 地域の方々から学校を通じて教育委員会へ報告。

**Q** 合同点検について、今後の取り組みや対策は。

**A** 新たな危険箇所が発生して無いか確認、また対策を講じた箇所においても継続して合同点検を行い児童・生徒の安全確保に努める。

**Q** 防犯教室の実績は。

**A** 幼稚園、保育園あわせ、27年「101園中26園で実施、延べ86回」28年「114園中55園で実施、延べ82回」29年「121園中36園で実施、延べ83回」30年（予定）「133園中61園で実施、延べ88回」

**Q** 防犯教室の周知徹底や更なる啓発を期待するが

**A** 重要性は認識している。幼稚園・保育園については、全てで実施されるよう案内していく。小中学校については、日常的に危機管理に関する意識を高めていく。

**Q** 防犯協会の体制は。

**A** 佐賀地区防犯協会、2校区単位防犯協会で組織、諸富地区防犯協会、諸富町、川副町の各団体の代表等で組織。

**Q** 取り組みは。

**A** 子ども110番の家のぼり旗、ステッカー配布、防犯ブザーの配布や斡旋。不審者侵入時の対応訓練実施等。

### 社会体育について

スポーツ界において指導者の様々な問題が多発。
佐賀市の少年スポーツにおける指導者の高圧的な言動や行動、またスポーツ科学的に根拠の無いトレーニングを行う指導について総括及び一問一答にて5項目を質問しました。
答弁：アンケートの実施や相談窓口の設置をしている。今後も指導者に対して適切な指導を推進する。等

### 米の国まつりについて

今年で47回目となる佐賀城下栄の国まつりについて、肥前さが幕末維新博覧会との相乗効果や経済効果、また今後について総括及び一問一答にて5項目を質問しました。
答弁：うちわｄｅスタンプラリー等新たな試みを予定している。等

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。

一般質問とは？

## 視察報告

平成30年5月21日～23日 **文教福祉委員会 奈良県橿原市子ども総合支援センター及び岡山市役所**

**【子ども総合支援センターの設置について】**

・療育施設「かしの木園」を視察／保護者とともに通園する発達障がいを持つ児童、0～6歳(就学前)が対象。

隣接する白橿南小学校の一部を改築した2階建て、機能訓練室や療育室、プレイルーム等を有し、子どもたちが伸び伸びと療育を受けることが出来るであろう印象。職員は教育支援課17名、子ども療育課15名であるが、人材確保は課題とのこと。
また人材については、当施設で数年働いたのち民間に転職する例もあり、人材確保が困難であるとのこと。
今回の視察で興味深かったのは規模や職員数もだが、一番は連携。
奈良県立医科大学付属病院医師等による相談（月一回）や隣接の白橿南小学校と共通テーマを持ち、様々な行事を合同で開催。また市民向け講演会や教職員向け研修会の実施など、まち全体で理解し支えている様に感じた。佐賀市も昨年開所した発達障害児療育施設「クラスルームといろ」があるが、すでにフル稼働状態。今後、橿原市の様な先進的事例を参考に当市も推進していく必要があると強く感じた。

**【在宅介護給合特区（AAAシティおかやま）の推進について】**

・高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来る社会の構築のため、通所サービスに対する自立支援（要介護度をなるべく上げないための取り組み）に資する質の評価の導入。

前例のない先進的事例、厚生労働省と協議する一方で、民間である介護事業所との協議、また大学からの協力のうえ実施。
岡山市にある介護事業所の50%以上、158事業所（平成29年）がインセンティブ事業に参加。達成度を事業所毎に行うことでバラつきは出ないのか？また、第三の機関で調査することは検討しなかったのか？との質問に対し、回答は、第三者による調査も検討課題に挙がったが、最終的には事業所毎に自己申告するカタチとなった。またバラつきが出ない様に、達成度の調査方法、調査項目については、しっかり研修を行ってとのこと。
現在、更なる提案もされており、今後益々の進化があるであろう岡山市の取り組みは、当市においても学ぶべき点が多数あると感じた。

**家電メーカーSE、飲食店経営、MC、オートバイレーサーetc...**
**様々な経験よりお伝えします！**
■夢・目標の実現　■時間管理　■モチベーションUP 講演依頼は090-1516-9832まで

PROFILE
**■御厨 洋行（みくりや ひろゆき）** 昭和46年12月6日生まれ 46歳
神野小学校卒業／成章中学校卒業／佐賀工業高等学校 電子科卒業
LINE@ **www.mikuriyahiroyuki.com**

### スポーツ

□スノーボード
全日本スキー連盟技能検定1級

□ウェイクボード
第63回国民体育大会 チャレンジ!
おおいた国体出場

□ロードレース
元オートバイレーサー
サウスチャレンジカップ
九州選手権に出場
JSB1000 国際ライセンス